

花巻市民 第12回文芸大会 芸術祭

生涯学習の発表の場として、今年も開催された花巻市民芸術祭。11月17日には、大迫交流活性化センターで第12回文芸大会が開かれました。この大会の入選作品を紹介します。

* 詩、随筆部門の入選作品は、まなび学園ロビーと市ホームページで閲覧することができます。入選者の敬称と選者は省略

【短歌】

▽作品募集の部

天位 木漏れ日に耳を澄ませば光太郎の「智恵子ちえ子」と呼ぶ声聞こゆ
地位 茶を持参一時ほどを野良へ出で老いの独りの気分を晴らす
人位 私は何に怒っているのだろう空がこんなに晴れているのに

多田聰子
佐藤清史
河津詠太郎

▽当日詠の部

特選 石路の花に群れあふ蜂の音聞きつつガラシャ堂に詣つる
わが父の植ゑにし栗の樹をのぼるみどり毛虫は白きたてがみ
互選最高点歌賞 秋雲の流れるままに逝く母の落葉の雨はホロホロと

鎌田昌子
千田正平
熊谷敏子

▽小学生の部

奨励賞

むらさきのぶどうといえはワインだよしよう来ほくも飲んでみたいな
ハクビシンかわいこぶつてきようぼうでみんなのぶどうたくさん食べた
たのしみは三か月待ち本屋行きレジならんで本を買う時
たのしみは川へ行ってつりをしてつり糸がひきつれそうな時

小原田陽悠(大迫小4年)
梅村加奈(同4年)
伊藤碧(内川目小6年)
柳田岳音(同6年)

▽中学生の部

奨励賞

星くずを集めたごとく木々の枝夏のはじめの光のドラマ
雨上がり背よりも高い向日葵のこぼれるしずくが涙のよう
被災者の思いを乗せて走り出すその終点は希望の光
目を閉じて耳をすませば波の音あの日のは忘れてならぬ

齊藤大真(宮野目中2年)
八重樫春希(同2年)
伊藤彩花(湯本中2年)
大石幸和(同2年)

【詩】

芸術祭賞 樹液
優秀賞 義母
奨励賞 老人の会話
佳作 八月のかすかな音
もしも

河津詠太郎
朝倉了子
佐々木茂夫
武田稲子
有原すみれ

【随筆】

芸術祭賞 切り抜かれた写真
優秀賞 ゆうが料理
奨励賞 迎え火
佳作 里山ガーデン
ミニ菜園
彼岸花

駒場恒雄
郡司彬子
佐々木トセ
多田聰子
有原すみれ
駒場幸子

【俳句】

▽作品募集の部

団体賞 湯口句会

特選

川越ゆる秋蝶に目を凝らしけり
ピーマンの蒂の辺りの暗さかな
読書の秋卓上にある虫眼鏡
静いの中をとりもつ猫じゃらし
障子貼る母のほひの日溜りに

高橋和枝
白石順子
豊山れい子
井形淳美
千葉任子

▽当日句の部

特選

出番待つ自慢の毛並み馬の市
冬紅葉山々ワインこぼすごと
空狭き早池峰の里銀杏散る
白煙の燻ぶる匂ひ秋収め
早池峰の裾野は広し冬菜畑
互選最高点歌賞 窯元に煙ひとすじ懸巢鳴く

檜山朝子
白石順子
川村住子
豊山れい子
多田ゆう湖
上野節子

▽小学生の部

奨励賞

ふうりんは風とおしゃべりしているの
さくら咲くみんなの声もさくら色
ぶどうはね声をかけるとあまくなる

佐藤那南(石鳥谷小4年)
伊藤天斗(花巻小2年)
吉田瑠辰(大迫小4年)

▽中学生の部

奨励賞

初体験田植えの感触足の裏
そうめんの竹のおいと流れけり
夕焼けに染まる私とのびる影

橋場心(宮野目中3年)
田口雛乃(同3年)
高橋優斗(花巻北中3年)

【川柳】

▽作品募集の部

特選

アルバムの赤ちゃん今日は嫁に行く
胸はって母にあげたい星三つ
迷うたび少年大人になってゆく
改元へひらり乗りたい又三郎

照井地蔵
あべ和香
あべ和香
及川洋一郎

▽席題の部

特選

泣きに來た嫁に畑の豆弾け
早池峰の紅葉散って舞い納め

小田島花浪
高橋範生

▽小学生の部(宿題「宿題」「夢」)

特選

しゅくだいがおわったあとかいほうかん
夢だけど会えてうれしいおばあちゃん
奨励賞 テストはみんなきらいなおにじごく
ママのつのはきはせんぶてんすうだ
宿題をしないと親が鬼になる

伊藤彩智(湯本小6年)
佐藤璃桜(花巻小4年)

親が目を光らせて言う「終わった？」と
おかあさんしゅくだいなくてうらやましい
子どものねゆめこそ平和すてちゃダメ
この町で夢をかなえる花巻市
チャレンジだゆめにむかってダッシュする
お手つだいゆめがふくらむおこづかい
夢のためどりよくするのはあたりまえ

小原虎雅(花巻小4年)
高橋輝人(同4年)
瀬川昊正(同5年)
佐々木有里(同5年)
はこさきおうが(湯本小1年)
田澤萌香(花巻小4年)
高瀬優月(同5年)
高野橋瑛奈(湯口小4年)
澤田美里(湯本小4年)
永喜多詩織(同6年)